

投資事業評価調書 (新規)

課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 西川昌一 (釜谷正博)	内線	4459 (4467)
-----	-----	---------------------	---------------------	----	----------------

事業 種目	急傾斜地崩 壊対策事業	事業名	事業区間	総事業費	約 2.0 億円
		急傾斜地崩壊対策事 業 <三谷地区>	宍粟郡 山崎町 三谷		
所在地				着工予定年度	完成予定年度
宍粟郡 山崎町 三谷				H13年度	H15年度
事業目的			事業内容		
防災対策 急傾斜地崩壊危険箇所であり、斜面崩壊による危 険性が高いため、防災対策工事を行い、地域住民の 人命を保護する。			急傾斜地崩壊対策事業(防災工事) 擁壁工 L = 360m H = 5m		
評価視点					
(1)必要性 安全・安心		<ul style="list-style-type: none"> 急傾斜地崩壊危険箇所である。 保全人家戸数23戸と多く、県道名坂山崎線(迂回路無し)、一級河川三谷川がある。 斜面は、小規模な表土肌落ちが発生するなど、危険な状態である。 			
快適性・ゆとり		<ul style="list-style-type: none"> 県道名坂山崎線から眺望できる緑の山並みは、農村部の豊かな景観を構成するものであり、保全する効果は高い。 			
その他		<ul style="list-style-type: none"> 近接の治山事業による崩壊対策工事と共に、周辺を一連の斜面として安全対策工事を行う。 			
(2)有効性・効率性 有効性 効率性		<ul style="list-style-type: none"> 保全人家が多く、県道、一級河川もあり事業効果が高い。 急傾斜地危険区域の法指定の同意を得ている。 			
(3)環境適合性		<ul style="list-style-type: none"> 待受擁壁工は、化粧型枠を採用し、より自然に近い雰囲気にする。また、ツタ等による緑化を検討する。 斜面脚部を固定することにより、農村部の良好な緑の斜面を保全できる。 			
(4)優先性		<ul style="list-style-type: none"> 保全人家が多く、迂回路のない県道もあり、事業効果は高い。 表土の肌落ちが発生するなど斜面は危険な状態であり、早急な防災対策が必要である。 法指定の同意を得ており、事業執行体制は整っている。 			
評価 の 結果	着手妥当	左 の 理 由	審査の結果、事業着手が妥当と認められた。		